

新人メイドはクラスメイトのギャル

ク
ア
ト
□

■作品概要

△サークル▽

癒し庵もち猫（シナリオ／効果音／音声編集…クアトロ）

△ジャンル／年齢指定▽

バイノーラル音声作品／全年齢

△作品ポリシー▽

35m 台詞文字数5,700文字

△舞台▽

現代／聴き手の屋敷

■登場人物

△ヒロイン▽

名前 …七音 響（ナナオ ヒビキ／17歳）

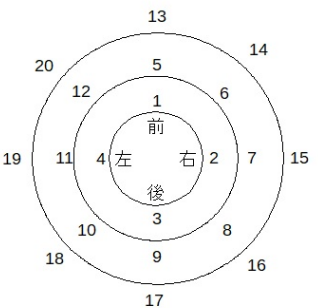
人物 …口調は荒っぽく性格もガサツ

自らの過ちで借金を負ってしまいバイトを探した結果高収入のメイドに
家事全般や料理も出来ない役立たず
イヤイヤながらも主人の要求に応えていくが…

趣味／特技…ネイル／ピアス／掃除すると部屋が汚れる

△聴き手▽

主人 …響を個人的に雇った御曹司／響とクラスメイト



△台詞位置の指定図▽

図はマイクとの距離を示しています
1～4は30cm
5～12は50cm
13～20は1mを想定しています
距離が取れない場合、
こちらの音量調整等に対応します

1…メイド服、着てみたんだけど…。(屋敷内／昼) 1536文字

(位置二／有声音)

(恥ずかしそうに)

ねえ…、言われた通り着て来たんだけど…。

そう…、メイド服…。

なんかこのメイド服…、露出多くない？

そんでさ、あんたの目線…、やらしいんだけど…。

え？

あんた、じゃなくてご主人様…？

そう呼べって…？

はあ？

なんであんたの事なんかをご主人様呼ばわり…。

って…、七音（ななお）が雇われるんだから仕方ない…、つか…。

わかったよ…、ご…、ご主人…、様…。

こ…、これで満足か？

(二二二まで)

(独り言をつぶやく様に)

うーわ、悦に浸ってるわ、こいつ…、キモ…。

サイテー。

(二二二まで)

ああ、ううん。

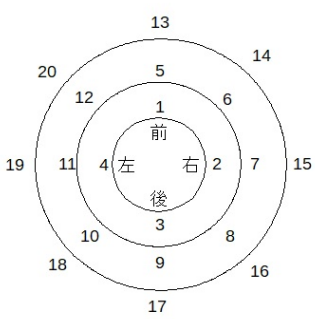
なんも言ってないし。

うん、言ってない。

しかし、まさか雇い主がクラスメイトとはね…。

いやー、一瞬マジ焦ったわー。

割りのいいバイト先…、って思って来てみたら、まさかの顔見知り。



いや、だってさ…、普通クラスメイドがお屋敷住みとは思わないじゃん。しかも、雇い主…。

そりゃビビるでしょ…。

あー…、所でさ、このメイド服…、どうしてこんなに露出が多い訳？
はあ？

ただの趣味…？

あんた…、じゃなかった、ご主人様の？

ふーん、ご主人様は変態って訳だ。

だってさ、メイドって家事手伝いが仕事でしょ？

なのにこんな胸元の開いてるデザインっておかしくない？

それにスカートも短いし…。

おまけにガーター着用必須って…。

これもご主人様の趣味な訳？

へえ…、やっぱ変態じゃん。

まあ七音は嫌いじゃないから着てあげるけど。

そう。

だから有難く拝みなー？

(ため息) ふう…。

んでー？

七音はなにからすればいいの？

掃除？

洗濯？

それとも料理でもする？

今日が初日だし、なにか指示してくれないと。

あ、先に謝っとくけど、いま挙げた事、七音はなんにも出来ないから。
うるせー。

出来ないもんは出来ないの。

って言っても、完全に出来ないって訳じゃないよ。
やらせない方がいいってだけ。

うん。

理由？

聞きたい？

あー、聞いちゃうんだ。

まあいいけどね。

えーっと…、例えば掃除。

時間をかければかけただけ、部屋が散らかる…。

それと洗濯。

七音の家（いえ）に新しく来た洗濯機、その日に壊した…。

料理は…、作った翌日、家族全員がお腹壊した…。

な？

やらせない方がいいだろう？

そうそう。

人には苦手なもんとかあるからねー♪

へ？

得意な事？

七音が得意なのは…、ネイルアート♪

あんた…、じゃなかった。

ご主人様には縁がないかもだけどねー♪

は？

もつと役に立つ事…？

なんかその言い方、ムカつくんだけど？

当たり前だろ。

人の趣味を悪く言われたら、そりゃ怒られても仕方ないでしょ。

ご主人様のこの趣味。

そう、このメイド服。

これを変態だのって言われたらムカつかない？

でしょ？

つまりそういう事。

へ？

七音がさっき言った？

変態って？

マジ？

まあいいじゃん♪

んでー、七音でも出来そうな事、なんかないの？

え、隣街のデパートまで買い出し？

えーっと…、めんどいからやダ。

だって電車乗り継ぎじゃん？

やだよ。

七音は行かない。

他のメイドに頼んで。

んー、買い出し以外にないの？

え、皿洗い？

あー…、ネイルが割れるかもだから、ムリ…。

うつさいなー。

だってさー、毎日整えて、ここまで綺麗にしてるんだよ？

もしネイルが割れちゃったら、七音生きていけないもん…。

そう思わない？

思うよね？

てか思え。

と言う訳で、ほかー。

唸ってないで、早く指示してよ。

七音だって暇じゃないんだからさ。

ほらほら、早くー♪

は…？

膝枕…？

えーつと…、ご主人様を…？

嫌ですーっ。

なんで膝枕なんかしなきゃいけないのさ。

へ？

だったら雇えない…？

え、ちよ、待つてよ。

それは困るって言うか、その…。

受け取ったお給料で借金返さなきゃだし…。

えー…、あー…。

分かったよ…。

分かったつってんのっ。

やればいいんでしょ、膝枕。

(位置二で周りを見渡しながら／有声音)

えーつとー…。

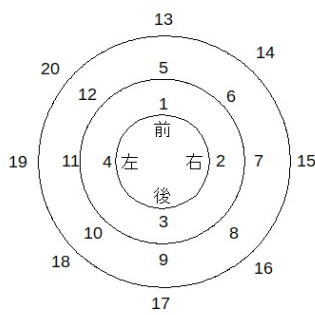
ああ、あそこのソファでいい？

(二二二まで)

(位置二／有声音)

オッケー。

ってかソファでかつ。



え？

あれで小さい方…？

嘘でしょ…。

価値観がおかしくなりそう…。

2…膝枕、してみたんだけど…。(屋敷内／昼) 1947文字

(位置2／無声音／囁き)

膝枕どう…？

満足した…？

へえ、こんなんでいいんだ。

つてかさ、あんま動かないでよね。

スカート短いから、あんま動かれるとめくれちゃう。

ん？

なにキョトンとしてんのさ…。

めくれたら下着が見えちゃうでしょっ！

え、まさか七音に生膝枕してもらって、そんな事にも気付いてなかったの？

嘘でしょ…。

もー、ご主人様、よく分かんない…。

こんなエッチなメイド服を着させておきながら、

自覚なしに膝枕を求めてくるんだもん…。

変態のクセに鈍感だなんて、いいトコなしじゃん…。

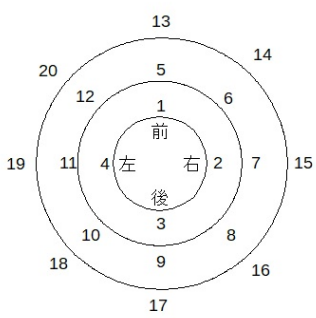
へ？

言い過ぎ…？

おつといけない…、こんな調子じゃ雇ってもらえないよね、アハハ…。

んでー？

膝枕を要求したのには、なにか理由があるんじゃないの？



は？

ない…？

あー、えーつと…、ないの…？

マジか…。

ああ、いいよ。

これでお給料がもらえるなら、楽でいいって事♪

ん？

あれ？

よく見たら、ご主人様の耳たぶ、めっちゃでかくない？

うん、でかいよ。

いかにもお金持ちって形してる♪

ねえ、ちょっとだけ触ってもいい？

いいじゃん、減るもんじゃないしー。

な？

へへっ、あんがと。

んじゃあ失礼しますよ…、つと…。

(耳に触られる音)

おほー♪

モチモチで柔らかーい♪

堪んねー♪

ってコラっ。

そんなにビクビク動くなって！

七音までくすぐったいじゃん！

ほら、ジッとしてて。

うん、そのまま。

動いちゃダメだからね？

よーし♪

って事でー、もうちょっとサワサワにちゃおっとな♪

ん？

なに？

気持ちいい？

これが？

どうやってるって…。

七音のネイルで摘まんでるだけだけど…。

は？

ゾクゾク…、する…？

うーわ、キモ…。

えっと…、もうやめていい…？

ええ…、続けんの…？

ヤダよ。

ご主人様、喜んでてキモいもん。

はあ？

命令？

あーもうっ、わかったよ、やりゃあいいでしょー。

ツンツン…、ツンツン…。

ツンツン…、ツンツン…。

フニフニ…、フニフニ…。

フニフニ…、フニフニ…。

ツンツン…、ツンツン…。

ツンツン…、ツンツン…。

フニフニ…、フニフニ…。

フニフニ…、フニフニ…。

ツンツン…、ツンツン…。

ツンツン…、ツンツン…。

フニフニ…、フニフニ…。

フニフニ…、フニフニ…。

お、なんかご主人様の耳たぶ、あつたかくなってきた♪

もしかしたらこれって、マツサージ的な効果でもあるのかな♪

モチモチな上に、あつたかい…。

つき立てのお餅みたい♪

そう考えるとさ、美味しそうに見えてきた♪

ねえ、ちよっとかじってもいい？

あは♪

冗談だつて♪

あれ？

今更なに？

照れてんの？

はあ？

恥ずかしい…？

(ため息) はあ…。

あのね、こんな露出の多いメイド服の七音の方が恥ずかしいって…。

そう言えばこのメイド服の露出、ご主人様の趣味って言ってたけど…。

それはつまり七音や他のメイドさんに対して、下心があるって事？

とぼけても無駄。

さつきから七音の胸にばかり視線来てるの、気付いてるんだからっ。

このメイド服、胸の所が特に露出してるもんねー♪

下から見る七音の胸の膨らみはどう？

悪く…、ない？

うーわ、開き直ってんの。

キモ…。

(閃いたという感じで) あっ、そうだ♪

もっと近くで見たくない？

見たいよね？

そうだよねー♪

じゃあさ、ご主人様の耳に目がけて、少しずつ降りていくよ♪
すう…。

んー、あと十センチくらいかな？

ご主人様の耳に胸が着いちゃいそう♪

もーっと近付いちゃうもんね♪

すう…、ピタっ。

あはっ♪

ギリギリ着くか着かないかって距離♪

あ、言っておくけど、動いたらダメだからね。
当たり前じゃん。

もし動いて胸に触れたら、大声で叫ぶから。

ふふっ♪

生殺しだねえ♪

あと一センチくらいかな？

どう？

七音の胸、触れてみたい？

それともヤメておく？

ご主人様を選んでいいよ♪

ん？

あれれー？

もーしかしてー、迷ってる？

うーわ、こんなエッチなメイド服を着させておいて、

いざとなったら迷っちゃうんだー、へー♪

じゃあー、今回はお預けって事で♪

また今度♪

また今度がいつあるか分かんないけどねー♪

と見せかけて、えいっ！

(耳に胸が擦れる音／心音)

あはっ♪

不意打ち成功っ♪

どうどう？

七音の胸、柔らかいでしょ♪

クラスメイトには、結構大きいって言われるんだよねー♪

てかさ、露出が多すぎて、胸が直接当たってんの、気付いてる？

もしかして、気付いてないフリしてた？

隠すの下手だねー♪

だって顔、真っ赤だもんっ。

わっかりやすい♪

んでー？

七音の胸の感触はどう？

でしょー♪

柔らかくて、あったかいでしょ♪

っと…、いけない…。

あんまこんな事をしてたら、年頃のご主人様には刺激が強すぎるかな？

あはっ♪

だよね。

ゴメン、ゴメン。

ちよつと悪ふざけが過ぎたね♪

へ？

なに？

ついでに耳かき…？

えーっと…。

ついでってなにさ…。

雇われてる身とは言え、好き好んで膝枕してあげてる訳じゃないんだから…。

あー、はいはい。

命令ね。

分かった分かった。

やってあげるから。

ったくもー、職権乱用にも程があるっての…。

んじゃあ、耳かき棒を持ってくるから、ちよつと待ってて？

3…耳かき、してあげてるんだけど…。(屋敷内／昼) 2217文字

(位置／無声音／囁き／ゆっくり)

ほい、お待たせつ。

んじゃあ、こっちの耳からねー。

えーっと…。

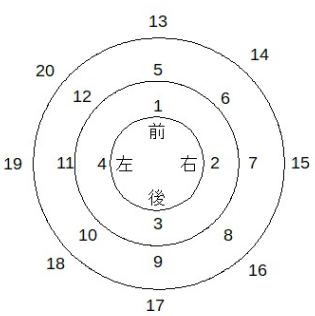
へえ…、意外と綺麗じゃん。

これだけ綺麗なら、やる必要なくない？

えー、やんの？

しょうがないなー、分ったよ。

やってやるから…。



んー…、汚れ…、汚れ…。

おお、あつたあつた♪

ん…、っしよつと…。

もうちよつと…。

カリカリ…、カリカリ…。

カリカリ…、カリカリ…。

よし、一個目取れた♪

（ティッシュを取る音／ティッシュで耳かき棒を拭く音）

成程なー…。

ああいや。

パツと見て綺麗に見えても、耳の汚れって意外とあるんだなって。

ほら、人の耳穴（みみあな）って、形も色々あるじゃん？

だからさ、よく観察してみないと、分かんない事もあるって訳。

んじゃ、続き、やっていくからねー。

じーっくり観察して…。

おおー、発見♪

狙いを定めて…。

こしよ…、こしよ…。

こしよ…、こしよ…。

っしや、取れた取れた♪

七音って実は、耳かきの才能あるのかも♪

だって、一見汚れがない様に見える耳からさ、こんだけ取れてるんだよ？

これはもう才能開花しちゃったんじゃない？

いいじゃん。

そういう事にしといてよっ。

これから長く雇ってもらうためにも、なにか得意な事を探さないと♪

そう。

七音の借金…。

結構あるんだよね…。

あー、なんでこの歳で借金なんてって思つかもだけど、それは言えない…。
うん。

いくらあなたがご主人様って立場であつても言えない…。

あー…、これだけは言っておくと、完全に七音のドジが原因。
そう。

だからさ、話すの恥ずかしいし、ご主人様には関係ない事でしょ？
な？

んじゃあこれ以上は詮索しないでねー。

オッケー。

物分かりがよくて助かるわー♪

って訳で、耳かきに集中するからねー。

(しばらく無言)

よーっし、そろそろいいかな？

そしたらー、この反対側のポワポワで、細かい汚れも取っちゃうからねー♪

ポワポワ…。

(耳ふー) ふー…。

ポワ…、ポワ…。

(耳ふー) ふっふー…。

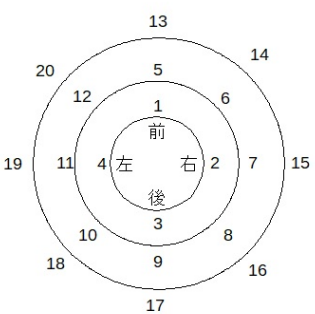
ポワ…、ポワ…。

(耳ふー) ふー…。

うん、綺麗になった♪

んじゃあ、次は反対側ね♪

ゴロンしてー。



(位置2／無声音／囁き／ゆっくり)

おーし、こっちもやっていくぞー♪

へえ、やっぱこっちもそんな汚れてないね…。

えーっと…。

ああ、あるっちゃあるねー、汚れ。

どれどれ…。

カリカリ…、カリカリ…。

カリカリ…、カリカリ…。

こしよ…、こしよ…。

こしよ…、こしよ…。

そう言えばさ、聞きたかった事があるんだけど。

クラスメイトなのにご主人様って呼ぶの、慣れないんだけど…。

でさ、「あんた」じゃ駄目な訳？

ええー…、駄目なんだ…。

うん。

うんうん。

譲れない…、つかー。

そこまで言うならご主人様、でもいいけどさ。

未だに違和感が半端ないんだよねー。

ご主人様は他にもメイドを雇ってるから、慣れてるかもだけどさ。

普通に暮らしてたら、「ご主人様」なんて呼ぶ事ないよ？

なに驚いた様な顔してんのさっ！

考えてみ？

こんなデカいお屋敷、そしてメイド。

そんなのアニメや漫画でしか聞いた事ないって。

でしょ？

だからさー、最初メイドの求人を見た時は、目を疑ったもん。
おいおいマジか？

ってね。

んで、このデカいお屋敷を見て、二度驚いたって訳。

そして三度目。

まさかのクラスメイトが雇い主…。

こんな偶然ってあるんだ…、って思ったわー。

え？

ご主人様も驚いた？

なんで？

あー、確かに…。

メイドを雇ったら、クラスメイトが現れたんだもんなー。

そりゃ驚いても無理ないかも♪

しかもさ、さっきは胸押し当てて、今は耳かきしてる…。

クラスではあんま話した事もなかったのにな♪

うーん…、そういう意味では、雇われたのはいい機会だったのかも？

だってさ、七音は高収入を得られる。

ご主人様はクラスメイトからこんな癒しを得られる。

それって、どっちもハッピーじゃん♪

でしょ？

あー、でも。

厳密に言っと、七音は借金。

ご主人様は金持ち。

そう考えると、また見方も変わってくるかもねー。

あ、でも安心して？

借金を肩代わりしてくれー、なんて言わないからさ♪

そう、七音のヘマは自分自身で責任取らないと。
は？

真面目…？

七音が？

あのね、七音はいつでも真面目だって。

うーわ、意外ってなんだよ…。

もしかしてさ、ギャルはテキトーに生きてると思ってる？

(ため息) はあ…。

ご主人様さー。

今の発言、サイテーだわ。

うん、サイテーって言ったの。

げえ、サイテーって言われて喜んでんの、キモ…。

そういう態度を続けるなら、七音、明日から来ないかも…。

なんてね。

そんな事はしないよ。

七音はテキトーに生きてないし、真剣に借金を返さなきゃって思ってる。

だから真面目に働く。

ただそれだけ。

まあ、そうは言っても、あんま真面目な事ばっかじゃむず痒くなるなるから、

この話はこれくらいにしとこ♪

って訳で、こっちもポワポワしてこっちなー♪

ポワポワ…。

(耳ふー) ふー…。

ポワ…、ポワ…。

(耳ふー) ふっふー…。

ポワ…、ポワ…。

(耳ふー) ふー…。

よーっし、おしまい♪

どう？

七音の耳かきは気持ちよかった？

そっか♪

じゃあまたいつでも言ってよ♪

うん、して欲しい時にやってあげる♪

は？

デレじゃないわ。

てか、いつツンがあった訳？

でしょ？

ツンがあつてのデレ。

それがツンデレなの。

そもそも七音はツンデレじゃないし。

あー、さっきのキモいはツンじゃなくて、ガチだから。

そう、ガチ。

うーわ、また喜んでる…。

(ため息) はあ…。

高収入とは言え、この先が思いやられるな…。

なんでって…。

あのさ…、ふざけてる…？

なに間抜けな顔してんのさっ！

ご主人様がそんなんだから言っただけのっ！

まあいいや…。

この後、どうすればいい？

まだ初日なんだし、次の指示をくれないと。

は？

しばらくこのままで？

別にいいけど…。

そんなに七音の太ももがいいんだ？

堪らん？

(ため息) はあ…。

キモ…。